



やまのうちの自然とくらし

— 志賀高原ユネスコエコパークとともに —



長野県 山ノ内町

“志賀高原ユネスコエコパーク”とともに…!!

山ノ内町長 竹節義孝



“志賀高原ユネスコエコパーク”は長野県の山ノ内町、高山村、群馬県中之条町(旧六合村)、草津町、嬭恋村の2県5町村で構成し、「志賀高原」を中心とするエリアが、1980年(昭和55年)に「ユネスコエコパーク」に登録されました。エリア一帯は上信越高原国立公園として雄大な自然が広がり、日本有数のスノーリゾート・温泉地として発展を遂げてきた一方で、地域の皆さまの努力によって今なお原始的な自然が大規模に保たれており、こうした自然環境の保全と利活用を調和した取組が行われている地域として国際的に認められています。

2014年(平成26年)に町のほぼ全域がエリアに拡張登録され、志賀高原のみならず町全体でユネスコエコパーク活動に取組み、その理念である「自然と人間社会の共生」を目指した持続可能な地域づくりが行われています。

本年、“志賀高原ユネスコエコパーク”は登録40周年の節目を迎えました。町ではこれを記念して、当地の「自然環境の特長」や「自然と人間社会の関係」「資源保全と活用の取組」について学術的にまとめた記念誌を制作し、日常的な活用と後世に残すものです。

制作にあたっては、志賀高原ユネスコエコパーク推進アドバイザーの信州大学の赤羽貞幸名誉教授(元信州大学副学長)に編集長をお願いし、信州大学や長野県環境保全研究所の先生方にバックアップいただき、各分野の学識者の方々へ原稿執筆をお願いしました。誰もが手軽に読んでいただき、利用していただける内容です。

“未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な^{まち}郷土”を目指す当町にとって重要な柱としてのユネスコエコパークは、豊かな生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す地域のモデルとして、国内のみならず世界から注目されています。皆さまには本記念誌を活用し山ノ内町の自然や伝統文化の素晴らしさを大切に、“夢と希望のあるまちづくり”につなげていただければと願っております。

終わりに、本記念誌の発刊にあたり様々な皆さま方からご指導ご支援を賜りましたことを深く感謝申し上げますとともに、これからもユネスコエコパークの活動に対してご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年(令和3年)3月

発刊にあたって



信州大学名誉教授 赤羽 貞幸

志賀高原ユネスコエコパークは登録40周年を経過し、これから活動を一層推進して行く時期を迎えています。エコパークの充実した活動を行うには、自分たちのエコパークの深い理解からスタートします。このとき必要なのがエコパークに関する基礎的な資料です。この記念すべき40周年に、志賀高原ユネスコエコパークの「自然環境の特徴」「自然と人間社会の関係」「資源保全と活用の取り組み」などについての記念誌の作成が企画されました。

これまで志賀高原ユネスコエコパーク推進アドバイザーとしての関わりをもってきた立場からもこの企画に大いに賛同し、この編集長を引き受けることになりました。令和元年度末から編集の準備に入りましたが、ちょうど新型コロナウイルスの感染期と重なり自由な往来は困難となりました。しかし、令和2年6月には第1回の編集委員会を開催し、冊子の体裁、執筆要項、執筆者、編集スケジュールなどを検討しスタートすることができました。

原稿の作成に当たっては、最新の研究データに基づく内容とするために、それぞれの分野で第一線の研究活動を行い、志賀高原ユネスコエコパークにも造詣が深い方々に編集委員や執筆者をお願いすることにしました。冊子の内容をより理解しやすくするためには写真や図表を多く入れることとし、文字を大きく見やすくする工夫も試みました。また、今後広く利用していただくためには、電子データでの公開を前提に編集を進めました。できあがった冊子を見ますと、すばらしい志賀高原の自然の魅力を反映したカラフルなページに仕上がっています。

志賀高原ユネスコエコパークを訪れる多くのみなさんには、興味あるページから見開き、自然の見どころをつかんだ後ぜひ本物の自然に触れてほしいと思います。わかりやすい冊子とするためにページ数が限られましたが、さらにもっと詳しいことを知りたい時は、それぞれの章の参考文献を調べて理解を深めていただきたいと思います。

編集にあたりましては、編集委員・執筆者のみならず多くの方々にご協力をいただくとともに、山ノ内町役場やユネスコエコパーク推進室の力強いご支援のもとで完成することができました。この記念誌の完成に関わっていただいた多くの方々に深く感謝いたします。今後、この冊子が志賀高原ユネスコエコパーク活動推進の道具のひとつとして、エコパークの理解と活用に貢献できることを期待しています。

2021年(令和3年)3月

目 次

町長あいさつ

編集長あいさつ

目 次

第1章 自然環境

1節 自然環境の概況	2
2節 景 観	5

第2章 季節と天気

1節 気 候	12
2節 四季の変化	13
3節 標高による影響	16
4節 亜高山帯の山岳地の気候	19
5節 気候変動	20

第3章 大地の地形と地質

1節 大地の地形	24
2節 大地の地形をつくる地質	28
3節 大地の生い立ち	36

第4章 恵まれた水環境

1節 水環境－河川と湖沼－	40
2節 温泉－豊かな湯量と高温の温泉－	47
3節 治水と利水	52

第5章 志賀高原の植生と植物

1節 志賀高原を特徴づける植生	58
2節 日本を代表する亜高山帯の針葉樹林	59
3節 四季を彩る落葉広葉樹林	65
4節 特殊な環境で生きる植物たち	68

第6章 動物の世界

1節 哺乳類	74
2節 鳥類	81
3節 魚類と水生昆虫	87
4節 爬虫類と両生類	92
5節 特色ある昆虫類	96
6節 絶滅のおそれのある動物	99

第7章 人と自然の関わり

1節 人々の暮らしの移り変わり	104
2節 大地の恵み	108
3節 水・川の恵み	111
4節 雪と暮らす	114
5節 温泉と観光	116

第8章 志賀高原ユネスコエコパーク

1節 ユネスコエコパークとは	120
2節 研究・教育	123
3節 自然の保全	131
4節 自然の活用	136

第9章 山ノ内町の天然記念物

提言 志賀高原ユネスコエコパークにおける人と自然の共生に向けた取り組み

.....	147
-------	-----

索引	157
----	-----

編集者・執筆者紹介	160
-----------	-----

山ノ内町の概要	161
---------	-----

